



Shirasaka Kei

Kanazawa Butoh Kan

金沢舞踏館

白榊ケイ還暦舞踏公演

2018. 7.11.wed

金沢市民芸術村マルチ工房

19時開演



Shirasaka Kei

金沢舞踏館 白榊ケイ還暦舞踏公演

第一部 舞踏
第二部 過去の映像



構成・振付・演出
出演

白榊ケイ
白榊ケイ、
知名彩音、橋爪美香 (ゲスト、ダンスドライブ・ゼロ)
鈴木光子、市川幸子、岡井世津子、
伊藤宏美、中谷千恵



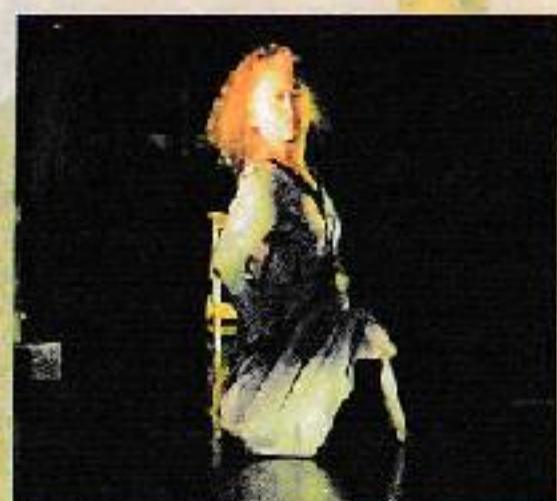
振付助手・照明
舞台監督・音響
協力スタッフ
写真
チラシデザイン

山本萌
松本拓也
本庄亮
ハヤシハジメ、Ulbi Florian
山本千加



白榊ケイ / しらさかけい

1979年より、山本萌のもとで舞踏を始める。共に活動をして1986年白榊ケイ舞踏会「遅れ難」にて主演する。1988年『シヴァとカーリーが踊るとき』の強烈な「カーリー神」の踊りが話題になり、関西でも踊る。1999年からの金沢舞踏館の海外公演に毎回出演し、雨との共作を手がける。2003～4年女性ばかりのグループ"7×Bikki"で振付け、演出を手がける。2005年劇団アングルス「女王メディア」、2006年「満州8+27」の舞踏振付けを担当。2006年「剥製にされた夏」を創作発表、翌2007年オーストリアのウィーンにて同作品を上演し好評得て存在感を示す。2011年に再び改訂して金沢にて「剥製にされた夏2011」を上演する。2015年より野々市・蔵スタジオにて土方巽著書「病める舞姫」をテキストに小品作りを始める。2016年金沢市民芸術村開村20年記念演劇祭「劇処」にて土方巽没後30年記念作品として「ふいご少年と煙玉少女」を製作し演出する。好評を得て昨年2017年には東北ツアー(仙台市、鹿角市花輪、秋田市)を敢行する。さらに新作「どうぐ双紙」東京・阿佐ヶ谷ザムザで上演、演出・出演をして好評を得る。現在もなお音楽構成、振付、衣装も手がける演出家として奮闘している。



前売予約 ¥1,500 | 当日 ¥1,800

予約・問い合わせ butohkan@spacelan.ne.jp

主催 金沢舞踏館
(金沢市城南1丁目22-5)
電話 090-9440-6903

